

ろっ かく ばし こ どう

六角橋古道で

う みず

打ち水をしよう！



事前申し込み
不要！

当日の飛び入り参加や
家族での参加、ご近所の方、
おじいちゃんおばあちゃんも

ゆかた・じんべい

大かんげい！

ゆうてんじぞう ほうしゅうじ ろっかくばしこうどう
祐天地蔵から宝秀寺へと続く、古くからある静かな小道「六角橋古道」。
暑い夏をしのぐ昔からの工夫である「打ち水」をして、みんなで涼みましょう！

打ち水に使う水は「六角橋古道」周辺の「災害用井戸協力の家」の井戸水です。
井戸水は夏でも冷たいそうです。冷たさを実感してみませんか。

とき：令和3年 **8月8日**（日）午後 **4時** 集合（1時間程度）

※雨天の場合9日に延期

あつまる場所：杉山大神（鈴虫の音色を聴けるかも！）

もちもの：水を運んだりまいたりできるいれもの

（ペットボトル、せんめんき、手おけ、バケツなど）

のみもの、帽子、マスク

※熱中症対策、コロナ対策は各自お願いします。



- (1) まず杉山大神で、協力してくれる「災害用井戸協力の家」の場所を教えてください。
※「災害用井戸協力の家」とは、じしんなどの災害で水道が止まってしまったときに、水を分けてもらえる家です。
- (2) 「災害用井戸協力の家」に行って、おうちの人にあいさつをして、井戸の水を持ってきた入れ物に入れてもらいます。
- (3) 打ち水をします。もらった井戸水を、六角橋古道の道路にそっとまいてみましょう。まいた水がじょうはつするときに、地面や空気が冷やされてすずしくなります！
※道いがいには水をかけないようにしましょう。
- (4) 終わったら杉山大神にもどって冷たいアイスをお願いします。車に気をつけて帰りましょう。